

ベルンシュタイン文庫を彩る 仏革命の世界

近 江 吉 明*

はじめに

こんな言い方も変だが、最近、筆者はミシェル＝ベルンシュタインの掌の上を歩いているんだなと思うことしきりである。いや、別にこの仕事が嫌ではないということをおうとしているわけではない。筆者は、1994年に前任者より「ベルンシュタイン文庫」の調査研究を目指す人文科学研究所「フランス革命史料研究センター」の仕事を引き継いで、2006年からは対外的に「専修大学・フランス革命史料研究センター」の責任者として今日に至っている。もともとフランス中世後期の民衆蜂起を主な研究対象にしていたこともあり、最初の数年間は及び腰であった。深くかかわると危ない！という思いがあったからのかもしれない。従って、形式的なセンター長だったということになる。それが、1999年に当文庫史料の中に *jacquerie* 関連史料を見出してからは変わるようになった。そして、今では「ミイラ取りがミイラ」になってしまい、「ベル文」の調査研究に深くかかわるようになっていく。また、こうして、筆者は彼の「ヴェールに包まれた近寄りがたい」後姿を追いかけて、このようなテーマで「M＝ベルンシュタイン論」に取り組むことになった。

しかし、それにしても彼はとてつもなく大きな仕事に着手し、そして、

*専修大学文学部教授

フランス革命に関する膨大な史料をよくも蒐集し後世に残したものである。本稿では、この世界的にも類い稀な古書籍収集家の一人である彼のフランス革命関連史料蒐集に込めた思いを、いくつかの視点から探り出してみようと思う。

1. ベルンシュタインは何故フランス革命史料を集めようとしたのか？

この点について、ベルンシュタインは『覚書』⁽¹⁾ という形で比較的多く言及している。また、彼を取り巻く歴史家や同業者の彼にまつわる記憶についての語りの中にもしばしば見出される。

この検討において、まず確認しておくべきは、彼の生きた時代の背景との係わりで彼自身の人生の足跡を可能な限り明らかにすることである。よく言われるように「謎と秘密に満ちた人物」⁽²⁾ という、彼についての一般的人物評価があるが、それは一つの側面として重視しつつも、彼が自ら語っていることに基づいて整理しておくことにしよう。

彼は、1906年に亡命ロシア人を両親としてリヨンに生まれた。父親はレオン＝ベルンシュタイン Léon Bernstein で、フランスでは日刊紙『リヨンの進歩』のロシア問題担当の記者をしていた。しかし、第二次ロシア革命以降は当紙が発禁処分になり父親が無職となった。そのため、ベルンシュタインも家計の援助のために働くようになり、パリの国立東洋語学校（ラングゾー）を中退し、ソビエト海運のフランス代理店に就職している。1927年に、彼の父はモスクワの「マルクス主義研究所」のフランス通信員になるが、そうした父親とパリの古書店を巡り歩いたという。そのころに、彼は、シャルル＝ボス Charles Bosse 書店でフランス革命期のいく箱かの小冊子を発見し、24カ月の分割で購入している。ところがスターリン主義の台頭の中で、父親が通信員としての職を失うと、彼もソビエト海運フランス代理店での職を失っている。ちょうど世界恐慌の時代で仕事がなく、つ

いに、1932年9月に彼は古本屋を開業している。主に、社会史、経済史、政治史などの書物を専門に扱っていたという。そうした中でも、彼はフランス革命期の小冊子や逐次刊行物を買求めている。

時代状況は、ファシズムの動きが目立った時期で、反ファシズム統一戦線もそれに抗して結成されるようになっていた時であった。フランスでもレオン＝ブルム内閣が出現している。この時期のことについて彼は明言していないが、第二次世界大戦に仏軍兵士として従軍し、捕虜になるが脱走し、後に、ユダヤ教徒でありながらパリの中心部で地下活動を行なうなど、レジスタント運動に身を投じていることからすれば、彼の政治的立場ははっきりしている。

パリ解放後、彼は1944年9月から様々な日刊紙や週刊誌の編集・執筆の仕事に加わり一定の収入を得て、自家用車を一台購入し取材のためにフランスじゅうを回っていて、その機会を利用し、あらゆる古書店でフランス革命関連史料を漁りまくるということをしている。その間、父親がアムステルダムの社会史研究所 l'Institut pour l'Histoire Sociale のパリ通信員になった後、ミラノのジャンジャコモ＝フェルトリネッリ研究所 l'Institut Giangiacomo Feltrinelli の通信員になってからは、彼も一緒にパリの国立文書館や地方の文書館でパプーフ運動についての史料を探索するなどしている。そして、1948年に書店を再開するのであった。それからは多くの同業者、歴史研究者などとの交流が確認できる。これは、彼が自ら語っているわけではないが、例えば、フランスとアメリカの社会主義に関する歴史研究者であるミシェル＝コルディオ Michel Cordillot や、書籍商として彼のライバルの一人であったジャン＝ジャック＝マジス Jean-Jacques Magis らを挙げることができる⁽³⁾。

1959年に、居住地であったパリ郊外のイッシ＝レ＝ムリノー Issy-les-Moulineaux からパリに移った段階では、買い集めていたフランス革命関連史料は、まだ注意深く分類し照合されなければならない巨大なかたまり

であったと述懐している⁽⁴⁾。それらのコレクションの本格的な整理は、1966年に彼が激しい心臓発作に見舞われたからであったという。こうして、史料整理に専念した彼は、索引カードを作り、マルタンとヴァルテール編の『フランス革命史史料目録』Catalogue de l'Histoire de France pendant la Révolution に書き込むなどの作業を進めながら、執筆者名の探索なども含む、整理、分類の仕事に10年以上の歳月をかけて、後に「ベル文」と命名されるコレクションを作り上げたのであった⁽⁵⁾。

さて、それでは彼は何故フランス革命関連史料を収集しようと思いついたのか。この点は『覚書』の中での彼の記憶のほかに、彼の大親友でもあったアントン＝ゲリッツ Anton Gerits の記憶などにも注目していきたい。

まずもって指摘しなければならないのは、彼の父親であったレオン＝ベルンシュタインの影響である。『覚書』でもふれているが、父親の勧めで若くしてジョーレス、オラルル、アルベール＝マチエらフランス革命に関する文献を読んでいたという。そこで彼が学んだことは、フランス革命が人類史上の決定的な新しい時代の始まりであったという認識であった⁽⁶⁾。とりわけ、王政を廃止し共和政を生み出した点であろうと推察される。ここに彼の歴史認識における不動の基本姿勢が見て取れるだろう。そのことは、「ベル文」史料と一緒に本学図書館に送られてきている「ベル文」工場の司令塔とも位置付けられるフランス革命関連文献資料の中にも見出せる⁽⁷⁾。そうした思いの中で、前述のように、1926年に、シャルル＝ボス書店で、フランス革命期の幾箱かの小冊子を発見し購入したのであった。

さらに、彼の生き方をさらに規定することになったのは両大戦と第二次ロシア革命の影響であった。詳論は避けるが、人民主権の原則は近代国民国家の中ではファシズムをも生み出し、帝政から「社会主義」化した地域ではスターリニズムなどの個人崇拜に基づく独裁体制を許すという現実と直面したからであった。その体験が最も強烈であったのは対独レジスタンス運動であったと思われる。なんと800日もの間、パリのマザリヌ Mazarine

通りにあったアパートでの対独地下活動において、反ファシズム運動の延長線上にある独軍占領下のフランスを解放するという、厳しい歴史的实践に身を投じたのは彼が選択した生き方だったのである⁽⁸⁾。このように、彼の思想性においてフランス革命の諸理念と彼の同時代的な政治的諸課題が一致していたことが、「ベル文」史料収集の原動力になった判断できよう。

2. 「ベル文」史料コレクションの概要とその幾つかの特徴

前述のように、シャルル＝ボスのフランス革命史料コレクションを購入してから彼の本格的な史料収集が始まるのであるが、さて、それでは彼はどのような狙いを持って仕事を進めていたのかを見ていこう。

この点は、彼が『覚書』でも明言しているところであり、彼のコレクションの整理作業の一つとして、『フランス革命史史料目録』との比較をしていたことから明らかであるが、「フランス国立図書館には存在しない史料」の確認が第一義的であったと言えるであろう⁽⁹⁾。後に、これらの作業結果を専修大学図書館は *Catalogue de l'Histoire de la Révolution française par Michel Bernstein, comparé avec le Catalogue de la Bibliothèque Nationale, par André Martin et Gérard Walter, Tomes 1-5, Ikuta, 1979* として出版している。この比較作業は『比較目録』としての役割を果たすことになるが、彼にとっても当コレクションの分類に役立ったばかりでなく、同一史料の異版の確認など書誌学的な検討を可能にするという利点があったのだらうと思われる。それが、結果として彼のコレクションの稀少性を裏付けることにもなったわけである。そうした書誌学的な整理の成果の一部は「フランス革命期の数冊の書物に関する書誌学的概要」« Notice bibliographique sur quelques ouvrages de l'époque de la Révolution française » と題して、『国際社会史評論』*International Review for Social History*,

(Vol. 3. 1938) に発表されている。

しかし、彼のコレクション整理作業は別の視点や問題意識に基づく形で進められたものも存在している。その主だったものを取り上げておこう。まず第一には、その最も典型的な整理としては国王ルイ16世の国民公会における裁判史料がある。これは、彼が「王政の廃止」に限りない関心を示していたことの表れでもあるところである。実は、『比較目録』と合わせて、彼の一種の整理作業記録類も専修大学図書館に保管されているのだが、その中に、『ルイ16世裁判関連史料の整理目録』ノートが含まれている。3冊のバインダー綴じの議員名リストであるが、国民公会議員749名中285名の議員のルイ16世裁判における態度を明らかにしているものである。その内でも第3回投票に着目し、1)「単純死刑」、2)「マイユ条項付死刑」、3)「執行猶予付き死刑」、4)「鉄鎖の刑・禁固刑」、5)「投票拒否」、6)「公務出張のために欠席」、7)「病気のために欠席」、8)「後で死刑に寝返る」の区分を行ない、彼らの国民公会内での発言史料を整理している⁽¹⁰⁾。

この作業推進の過程において、彼は、「ボワシー＝ダン格拉斯資料」le recueil Boissy d'Anglas を活用していることがわかる。ボワシー＝ダン格拉斯と言えば1816年に制定された「国王弑逆者の国民公会議員国外追放の刑」執行に際しては、国王弑逆者の恩赦を求める動きをしていたことで知られている。おそらく、これは推測だが、恩赦を求めるために彼が国民公会議員たちの国王裁判での発言を刊行した冊子を蒐集していたと考えられる。ということは、時代と立場こそ異なれ、彼の執念とベルンシュタインのこだわりが一致した場面と捉えることもできる興味深い「共同作業」であったということになる。ボワシー＝ダン格拉斯に係わる史料も64点になることも付記しておくべきであろう。

第二に注目されるのが1789年春段階に一斉に作成された各種陳情書の蒐集である。私たちの調査によれば「ベル文」には、第一身分関係の32点、

第二身分関係78点、第三身分118点（その内、第一次選挙集会時のもの39点、下級選挙集会時24点、上級選挙集会時55点）の印刷史料259点が確認されている⁽¹¹⁾。その他に、手稿史料 *manuscripts* が7点（その内、第一身分1点、第二身分2点、第三身分<下級選挙集会時>4点）がそれぞれ製本されて収録されている⁽¹¹⁾。この陳情書整理では、「ベル文」工房の一角を占めるイスロプ Béatrice F. Hyslop の文献をベースに進められていることがわかる。最終陳情書であれば各バイイ管区・セネシャル管区の身分ごとの残存状況が確認され、何よりも第三身分の下級選挙集会時のもの及び第一次選挙集会時のものが書誌学的に確認されている。この作業では、1月24日付けの国王通達に基づいて始まった地方の民衆レベルの陳情書作成の動きを捉えようとしていた様子が伝わってくるところでもある。

この姿勢は、民衆協会 *Société populaire* などの政治結社に関する史料蒐集においても見られる。『比較目録』によれば、異版も含め814点が確認されている。ここには、パリとの関係性や影響といった側面が見えてくる史料もあるが、さらに、各地方の活動の独自性や県内部の行政中心都市と中小都市の民衆協会との関係性を示してくれるものもある。各地方の政治的状況や経済的実体に係わる多様な言説も見えてくる。従って、地方の各組織をまとめ、地域民衆の世論をリードし、各レベルの議会との関係をどのように維持していたのが具体的に示されているものも少なくないと言える。つまり、これらの史料群は、中央というよりは地方の、名望家というよりは市井の人々の動きが見えるものであり、きわめて「匿名性」の高い、生の考え方や眼差しといった類のものが確認できる史料である。パリを中心とした革命の展開と同時進行していた、地方や一般民衆の土地問題や食糧問題などに対する意識や行動の実態を掌握するのに欠かせない。この姿勢の下で、彼は地方で発刊されていた主だった新聞の収集にも力を入れている。これらの史料蒐集にも彼の革命認識の一端が示されていると言えるだろう。

第三には、過激派と目された革命家への注目である。『覚書』で彼は、「私は少しずつエベール、バブーフ、ジャック＝ルーのような過激派がどのような人物であり、彼らの書いたものは、テルミドールやヴァンドームの裁判の後で何度も処分されてしまったので、どんなに数が少ないかを学んでいきました」⁽¹²⁾と言っているが、とりわけ、バブーフに直接関連する史資料を全部で98点集めている。この蒐集の狙いの一つとして、社会経済的平等を目指した革命家への共感という動機が働いていたことは疑う余地もない。A＝ゲリッツは、その辺のことを匂わせるあるエピソードを次のように回想している。

「……（同業者のレイモン＝クラヴ Reymond Crave のところと一緒に訪ねた時）また時々、ミシェル＝ベルンシュタインは自分の考えを持って、理想主義的な社会のことをいろいろ話そうとすると、レイモンがミシェルに対してフランス語で「あなたはいつでも夢を見ています」と言うのでした。……」⁽¹³⁾

おそらく、彼はフランス革命の理念の一つとしての、「平等」の実現を求める動きのあったことを、革命家の発言や行動に関する史料中に見出していたのだと思える。ここにも彼の革命認識の特徴が色濃く表れていると断言できるだろう。

この姿勢は、その他の部分でも確認できるが、目立ったところを若干追加するとすれば、まず、1791のユダヤ教徒解放に関する史料70点を挙げることができる。この史料群では、ウルヴィッツ Zalkind-Hourwitz やグレゴワール Henri Grégoire らが展開した論陣の流れが分かる史料が重点的に集められている。国民公会期における山岳派独裁期の対カトリック政策の動きなども含め、フランス革命と信仰の自由に係わる史料への関心が高かったことを示しているであろう。次いで、注目されるのがサン＝ドマン

グ Saint-Domingue 関連91点を含めた、革命期の植民地関連史料が843点存在することである。多いのは奴隷制廃止関連のものだが、広くアジア・アフリカ・南北アメリカに係わるものも少なくない。ここには、彼が世界史的な視点でフランス革命を見ようとしていたのではと思わせるところがあり興味深いところである。

以上のように、彼が史料蒐集とその整理において残した痕跡は意図的であり、一面でフランス革命史研究をリードするような狙いを感じさせてくれるところである。つまり、彼のフランス革命認識が随所にほとぼしり出ているところでもある。この在り様から見えてくるものは、古書籍業者一般がそうであるような、自らのコレクションの希少性を明らかにし、それらの商品的価値を確定しようとしただけでなく、彼自身の生き様のなかで培った政治性や思想性に基づいた拘りから、独自のフランス革命史料コレクション作り上げようとする古文書学者 *archiviste* のような職責を自覚した「裁き」の姿勢である。

3. ベルンシュタインは何故当コレクションを手放そうとしたのか？

さて、このようにして蒐集し整理した当コレクションをベルンシュタインは一括して手放そうとしている。ベルンシュタインの表現を借りれば、その理由はいたって明快である。『覚書』のなかで彼は次のように言っている。

「一つの恐れが私につきまるとして離れなくなりました。私の作った索引カード、各葉毎に白紙をはさみ込んで製本させ、書き込みを加えていったマルタンとヴァルテールの書誌、植民地問題、バブーフ主義、エベール、ロベスピエール、アナカルシス＝クローツ、カミュ＝デムーラン、その他多くの人々について作り上げた資料全体、この努力の

すべて、この何年にもわたる作業のすべて、私の宝とするコレクションが、19世紀の終わりにポシェ＝デロシュのコレクションやナダイヤックのコレクションの場合に起こったように、私の死後売却され、四散してしまうのではないかと懸念にとりつかれていたのです。もちろん私のコレクションは、19世紀を通して作られたフランス国立図書館や大英博物館のコレクションと比べられるものではないことは承知していますが、それでも個人によって作られたコレクションとしては、現代で最も重要なコレクションだったのです」⁽¹⁴⁾。

ここまでの彼の当該史料蒐集の動機と狙いの在り様からしても、この彼の思いに偽りはないと言えるだろう。そして、そのことを知った彼の友人のA＝ゲリッツが、「私が生きている間に、適正な条件で、何よりも売却後全体が分割されないことを条件にして、一括して売るよう努力することを申し出てくれました」⁽¹⁵⁾と、振り返っている。そうした経緯の中で、A＝ゲリッツの古書籍商としての国際的な人的ネットワークを通じて、日本の大手の洋書輸入書店を介して、1977年に専修大学に一括売却されたわけである。

この事実からしても、J－N＝デュカンジュが言うように、彼は「世界中にフランスの歴史と文化に関する知識を普及させることに貢献した」⁽¹⁶⁾と評価されるわけだが、多様な史料群の売却の中でも、フランス革命関連の当該史料コレクションのそれは別格の扱いであったように思われる。つまり、一括売却は彼の前述のような判断であるわけだが、なぜ日本の大学機関への売却を良しとしたかである。

この点について、彼は具体的な説明をしていない。また、A＝ゲリッツの回顧の中でもなぜ専修大学が最終交渉権を取得できたのかについての詳細な言及はない。1977年当時、専修大学が交渉に臨んだ時の、当コレクションの売り手側の斡旋業者はDekker & Nordemann社であったが、そのの

古書部門のマネージャーであったA=ゲリッツの証言は、同年5月に専修大学の代表調査団を迎えて、彼らをベルンシュタイン氏の住んでいたCharentenayに案内し、調査と交渉に入ったことと、そこでの売却額をめぐる交渉過程についての詳細な言及はするものの⁽¹⁷⁾、初めから日本ありきといった具合で、例えば、オークションの結果として日本の一大学に決定したといった経緯でなかったが故に、肝心なところがぼやけてしまっている。

当然ながら、日本の買い手側の洋書輸入業者およびそれにかかわったであろう数人のフランス革命史研究の専門家の存在はうかびあがってくるが、彼らの積極的な働きかけがベルンシュタインに対してあったからとも考えられない。予想された売却額をめぐる水面下の攻防はあったにしても、ベルンシュタインの決断には、どれだけ高く売却するかだけではない思いがあったように見受けられる。

この点についての筆者の捉え方は類推の域を出ないが、彼が『覚書』の最後のところで、「年々大きくなっていく、経済的、知的大国日本がこのコレクションを入手されたことを私は喜ぶとともに、このコレクションが、日本にとって大いに役立ち得るものであることを確信してやみません」⁽¹⁸⁾と結んでいることが気になる。もちろん、彼はこのコレクションが日本のフランス革命研究者の研究に大いに資することになるとも言っているが、それに止まらず、これが日本にとって大いに役立ち得ると言い切っているところに彼のメッセージ性が感じられる。

それは、おそらく彼がパリのラングゾーに一時在学していたことに起因する、彼独自の日本認識とその眼差しがこのような発言になったと思われる。つまり、彼は第二次世界大戦後の日本の近代国民国家としての歩みを冷静に見ていたに違いない。もっと言えば、戦争放棄を謳った9条を持つ日本国憲法を制定し、農地改革による大土地所有制の解体を目指し、そして、冷戦構造下であって高度経済成長を邁進していた1970年代の日本の現

状に、彼は不満を感じていたということであろう。それは、彼が日本の財界や保守政党主導の下に進められている日本の民主化の危うさを的確に読み取っていたからに他ならない。土地改革の不徹底や経済格差の拡大、女性差別の残存、教育行政の反動化、狭隘なナショナリズムの復活、自衛隊の存在とそこでの軍事力の増強など、そのどれもが彼にとっては不安材料であったに違いない。そして、彼が日本の将来に見据えていたのは、天皇制をどうするかという問題と、経済格差の是正などによる社会的平等の実現にあったように思われる。そうであるが故に、それらの課題を克服するのに当コレクションの学習が大いに役立つと彼は言っているように思えるのである。

このように一括売却前後の動きを捉えてみると、彼は現役引退後の自分および家族の生活安定を確保しつつ、彼独自のフランス革命解釈に基づき蒐集・整理された当コレクションの日本の大学機関への売り込みを、むしろ最初から意図的に進めていたきらいのあることが見えてくる。そのことを知ってか知らぬでか、その戦略にまんまと絡めとられた専修大学は、それどころか開学（1880年）以来最大の快挙ともいえる、知的「世界遺産」を管理するという「重い」任務を伴った「幸運」をつかみ取ることになったのである。そして、それから40年目を迎え、現在も専修大学では彼の当コレクションに込められたメッセージに沿った形でその整理及び活用を続けていると言えなくもない。

おわりに

以上のように、視点を変えてベルンシュタインの「ベル文」蒐集の歩みを踏まえ彼のコレクションの書誌学的捉えなおしをしてみると、そこに彼の政治性や思想性が随所にほとばしり出ていることに気付かされる。それらをつなげて見ると、彼がフランス革命の諸理念の何に注目してきたのか

がほのかにはあるが浮かび上がってきたように思う。そして、彼が自らのフランス革命解釈を重視して蒐集した当コレクションは、彼の意図したとおり、そのままの形で東アジアの一大学に移管され、意味を持ち始めている。

今、日本は第二次世界大戦後最大の政治的、社会的、文化的、そして国際的な危機の段階にあると思うのだが、まさに、彼が予測したとおり、日本はフランス革命が提起した人類史的な諸理念の原点に立ち戻って自らの国家および社会の在り様を決めていかなければならない局面を迎えている。つまり、19世紀末より近代国民国家の模範の対象として日本が注目してきている、フランス革命の生み出した諸成果と諸課題に学び、また、当コレクションにも込められた民主主義の根本理念に基づき、我々はこの難局を乗り越えなければならないということである。気が付いたときに、当コレクションが戦火の中で燃え尽きる、あるいは放射能汚染の下で朽ち果てることのないよう、一人一人が行動することの大切さを彼は伝えているのだと思えてならない。

追記：本稿は、2015年9月23日～25日に、フランスのグルノーブル大学とヴィジユの仏革命博物館で開催された国際シンポジウム「フランス革命を蒐集する」（*Colloque international: Collectionner la Révolution française, 23-24-25 septembre 2015, Grenoble et Vizille*）にて報告した原稿に加筆・修正をしたものである。

当シンポは、パリ第1大学フランス革命史研究所、グルノーブル大学人文・社会学部、イゼール県フランス革命博物館、ロバスピエリスト研究協会、イタリア歴史・美術史研究センターの5団体によって組織されたもので、3年連続企画の最終年にあたるものであった。仏・伊・英・米・露・日の「フランス革命史料コレクション」を所蔵する大学・文書館・博物館の関係者22名が、各機関においてフランス革命関連史料をどのように保存

・整理・活用しているかについて報告し議論を深めた。

フランス革命関連史料を所蔵するフランス以外の機関として招聘されたのは、Université de Durham, Université de Naples-Federico II, Université de Nice, Musée d'Etat de l'Ermitage, Archives d'Etat Russe, Université de Notre Dame (USA), Université de Warwick, Université d'Etat de Milan, Université Senshu であった。

筆者は、今年度も継続している本学図書館所蔵の「ミシェル＝ベルンシュタイン文庫」内の貴重史料研究の概要について報告しながら、当史料を蒐集したM＝ベルンシュタインの人物像に迫り、彼が「ベル文」に込めた思いや狙いを浮き彫りにし、彼のフランス革命認識を探り出した。この報告に際し、参加者から最も注目されたのが、バブーフ関連史料についてであった。フランス国立文書館やロシア国立文書館の関係者からのこれについての質問は、総裁政府期以降、抹殺される傾向にあったバブーフ関連史料の残存状況と、現状で「ベル文」に確認できる98点の史料情報についてであった。それは、とりわけロシアの「マルクス－エンゲルス研究所」に収蔵されるものとの比較が重要視されたからであった。

ということもあり、「ベル文」内のバブーフ関連史料情報の公開が急務となった。以下、本学図書館のOPAC検索において確認できた当史料一覧を提示することにした。なお、全体で98点の史料タイトルの中には同一史料が「ベル文」内に複数存在することも確認されている。それらについてはM＝ベルンシュタインによって作成された整理番号を併記することにした。

- (1) Yoshiaki Omi et Michel Biard, « La Collection Michel Bernstein (Université SENSU, Tokyo) », *Annales historiques de la Révolution française*, n. 364, 2011, p. 197-205 (M＝ベルンシュタイン<久重忠雄・訳>「革命期文庫についての覚書」, 『専修大学ミシェル＝ベルンシュタイン文庫だより』創刊号1980, 以下, 「覚書」と略, 5-11頁.) .

- (2) Jean-Numa Ducange, « Michel Bernstein, retour sur une trajectoire singulière », *Annales des Etudes de la Révolution française et la Collection des documents de Michel Bernstein*, 2012-2013, p. 16 ; ジャン - ニュマ = デユカンジュ（高橋則雄訳）「ミシェル = ベルンシュタイン—特異な足跡を振り返って—」（『専修史学』第54号, 2013年）17頁。
- (3) *Ibid.*, p. 15 ; 同上。
- (4) Y. Omi et M. Biard, *op. cit.*, p. 202 ; 「覚書」, 15頁。
- (5) *Ibid.*, p. 203-204 ; 同上。
- (6) *Ibid.*, p. 198 ; 同上, 13頁。
- (7) Y. Omi, « L'Analyse de la Bibliothèque de Michel Bernstein: l'histoire de la Révolution française, édition préliminaire, fascicule 18 », *Toshokan-Dayori* (*Bulletin de la Bibliothèque de l'Université SENSU*, en japonais), n. 39, 2000, p. 2-3.
- (8) Anton Gerits, « Michel Bernstein 1906-2003, ou Voltaire parmi les libraires antiquaires de France », *Bulletin du bibliophile*, Paris, 2003, p. 345.
- (9) Y. Omi et M. Biard, *op. cit.*, p. 203-204 ; 「覚書」, 15頁。
- (10) Y. Omi, *Bibliothèque de Michel Bernstein: Catalogue de l'histoire de la Révolution française par Michel Bernstein, Supplément* (*Brochure 12-14*); *Catalogue spécial des documents sur le procès de Louis XVI*, Biblio. de l'Univ. SENSU, 2003, p. 1-320.
- (11) Y. Omi, « La Valeur et le caractère historiques de la Collection des documents de M. Bernstein: Authour de l'analyse d'un Cahier de doléances du tiers état de la ville du Puy, département de la Haute-Loire », *The Michel Bernstein Collection and Studies on the French Revolution*, C. H. S. I. D. S. I. SENSU University, 2008, p. 39-56.
- (12) Y. Omi et M. Biard, *op. cit.*, p. 200 ; 「覚書」, 13頁。
- (13) A. Gerits, *The Antiquarian and Secondhand Booktrade in Western Europe* (en japonais), dans la conférence de 1990 par la Bibliothèque de l'Université SENSU, 1990, p. 1-11; id., *Books, Friends, and Bibliophilia: Reminiscences of an antiquarian Bookseller*, New Castle, Oak Knoll press, 2004, p. 195.
- (14) Y. Omi et M. Biard, *op. cit.*, p. 204 ; 「覚書」, 16頁。
- (15) *Ibid.*, p. 205 ; 同上。
- (16) A. Gerits, *Michel Bernstein 1906-2003.*, p. 346; J. - N. Ducange, *op. cit.*, p. 15.
- (17) A. Gerits, *The Antiquarian.*, p. 7-9 ; id., *Books.*, p. 293-295.
- (18) Y. Omi et M. Biard, *op. cit.*, p. 205; 「覚書」, 16頁。

（本稿は、平成27年度の本学研究助成：共同研究「ベルンシュタイン文庫貴重史料を活用した新たなフランス革命史研究の創出」の研究成果の一部である）

《「ベルンシュタイン文庫」内バブーフ関連史料一覧》

No.	Tome et fol..	Titre / Auteur
1	9689-7 bis	<u>Journal de la confédération.-- Reprint ed.-- ED-HIS, Editions d'Histoire Sociale.-- No. 1 ([1790])--no. 3 (4 juil. 1790)</u>
2	7298	<u>Babeuf et la conspiration pour l'égalité / Claude Mazauric.-- Éditions sociales; 1962</u>
3	7223	<u>Gracchus Babeuf / Josette Lépine.-- Éditions hier et aujourd'hui; 1949.-- (Grandes figures)</u>
4	7159	<u>Buonarroti e Babeuf / di Alessandro Galante Garrone.-- F. de Silva; 1948</u>
5	7420	<u>Babeuf, 1760-1797 : et la conjuration des Égaux / Gérard Walter.-- Payot; 1937.-- (Bibliothèque historique)</u>
6	7013	<u>Pages choisies de Babeuf, recueillies, commentées, annotées, avec une introduction et une bibliographie critique / par Maurice Dommanget.-- A. Colin; 1935.-- (Les classiques de la Révolution française)</u>
7	7089	<u>Cahiers de la Révolution française... : no. 1.-- Recueil Sirey; 1934</u>
8	7021	<u>Babeuf et le parti communiste en 1796 / par P. Bessand-Massenet.-- Hachette; 1926.-- (Récits d'autrefois)</u>
9	7020	<u>L'attaque de Grenelle : les communistes en 1796 / par P. Bessand-Massenet.-- Édition originale.-- Hachette; 1926.-- (Récits d'autrefois)</u>
10	7122	<u>Babeuf et la conjuration des égaux / par Maurice Dommanget.-- Librairie de l'Humanité; 1922.-- (Histoire des doctrines socialistes ; . Les idées et les faits)</u>

11	7334	<u>Le faux de Gracchus Babeuf / Abel Patoux.-- Imprimerie du "Guetteur"; 1912</u>
12	7364	<u>Buonarroti et la secte des Égaux, d'après des documents inédits.-- Hachette et cie; 1910</u>
13	7303	<u>Gracchus Babeuf.-- Librairie du Progrès; 1907.-- (Les hommes de la Révolution)</u>
14	3762	<u>La philosophie sociale du XVIIIe siècle et la révolution / par Alfred Espinas.-- Félix Alcan, Éditeur; 1898.-- (Bibliothèque de philosophie contemporaine)</u>
15	3260	<u>Un manifeste de Gracchus Babeuf / publié par Georges Lecocq.-- Librairie des bibliophiles; 1885.-- (Études révolutionnaires / publiés par Georges Lecocq ; 1)</u>
16	Fol.72-15	<u>Ant. Vadier, cons.[i.e. conseiller] au présidial de Pamiers, député aux Etats-généraux 1789, et de l'Ariège à la Conv. natle. 1792, compromis avec Babeuf ... / dessiné d'après nature par Gabriel ; Jules Porreau sc. 1847.-- Vignères; 1847</u>
17	3735	<u>Conspiration pour l'égalité dite de Babeuf, suivie du procès auquel elle donna lieu, et des pièces justificatives, etc., etc. / par Ph. Buonarroti ; t. 1, t. 2.-- A la Librairie romantique ...; 1828</u>
18	9090-1	<u>Débats du procès instruit par la Haute-Cour de justice, contre Drouet, Babœuf, et autres, recueillis par des sténographes.-- De l'Imprimerie nationale.-- No. 1 (2 ventôse an 5 [20 févr. 1797]) - no. 1 (2 ventôse an 5 [20 févr. 1797])</u>
19	9090-9 [viciés bis]	<u>Pièces lues dans le cours de l'exposé fait par l'accusateur national à l'ouverture des débats : séance du 6 ventôse.-- De l'imprimerie de Baudouin, imprimeur du Corps législatif, place du Carrousel ...; 1797</u>

20	<p style="text-align: center;">9090-9 [viciés semel]</p>	<p><u>Exposé fait par les accusateurs nationaux, près la Haute-Cour de justice, Viellart portant la parole dans la séance du 6 ventôse de l'an 5, au sujet des accusations portées tant contre le représentant du peuple Drouet, que contre Babœuf, et autres.-- De l'imprimerie de Baudouin, imprimeur du Corps législatif, place du Carrousel; 1797</u></p>
21	<p style="text-align: center;">9090-9 [viciés ter]</p>	<p><u>Les militaires formant la première division de l'armée de l'intérieur, aux stipendiés de Pitt, fabricateurs du placard intitulé, Soldat, arrete et lis.-- De l'imprimerie du Journal des patriotes de 89, rue de Lille ...; 1797</u></p>
22	<p style="text-align: center;">3268-5</p>	<p><u>Jugement rendu par la Haute-Cour de justice, le premier pluviôse l'an 5.-- De l'imprimerie de Baudouin, imprimeur du Corps législatif ...; 1797</u></p>
23	<p style="text-align: center;">9090-8 [ter]</p>	<p><u>Pièces relatives à la conspiration trouvées chez Babœuf, reconnues et paraphées par lui.-- De l'imprimerie du Directoire exécutif; 1797</u></p>
24	<p style="text-align: center;">3258</p>	<p><u>Péroraison de la défense de Gracchus Babeuf, (tribun du peuple), prononcée devant la Haute-Cour de justice.-- De l'imprimerie de l'ami du peuple, R.F. Lebois ...; 1797</u></p>
25	<p style="text-align: center;">9132</p>	<p><u>L'éclaireur du peuple, ou, Le défenseur de 24 millions d'opprimés.-- De l'imprimerie de l'Éclaireur du peuple.-- No. 1er. (12 ventôse, l'an 4e de la R?publique [2 mars 1796]) -no. 7 (8 floréal [27 avril 1796])</u></p>
26	<p style="text-align: center;">9090-8 [septiciés]</p>	<p><u>Drouet, représentant du peuple, au Corps législatif.-- De l'Imprimerie de R. Vatar et ass. rue de l'université ...; 1796</u></p>

27	<p>1503-6 9090-9 [duodeviciés]</p>	<p><u>Ministère de la police générale de la République : au quartier-général à Issy, le 24 fructidor, an quatrième, 6 heures du matin, Foissac-la-Tour, général de division, commandant la première division de l'armée de l'intérieur, au général en chef.</u> -- De l'imprimerie du Directoire-exécutif; 1796</p>
28	<p>3285</p>	<p><u>L'opinion d'un homme, sur l'étrange procès intenté au Tribun du peuple, et à quelques autres écrivains démocrates.-- De l'imprimerie des Patriotes de 92; 1796</u></p>
29	<p>9090-9 [undecies]</p>	<p><u>Proclamation d[u] Directoire exécutif, sur les évènements qui se sont passés dans la nuit du 11 au 12 du mois de fructidor : du 12 fructidor, l'an 4 e. de la République française, une et indivisible.-- De l'imprimerie du Directoire exécutif; 1796</u></p>
30	<p>3268-3</p>	<p><u>Jugement de la Haute-Cour de Justice, qui prononce sur les excuses proposées par les hauts-jurés.-- De l'imprimerie de Soudry, marchand libraire ...; 1796</u></p>
31	<p>9090-8</p>	<p><u>Proclamation du Directoire exécutif, aux citoyens de Paris, du 25 germinal, l'an 4 de la République française, une et indivisible.-- De l'imprimerie du Directoire exécutif; 1796</u></p>
32	<p>3280</p>	<p><u>Analyse de la doctrine de Babeuf, tribun du peuple, proscrit par le Directoire exécutif, pour avoir dit la vérité.-- [s.n.]; 1796</u></p>

33	<p style="text-align: center;">9090-8 [quindécies]</p>	<p><u>Mémoire justificatif de Drouet, représentant du peuple français, en réponse à la dénonciation faite contre lui par le Directoire exécutif de la République française, le 21 floréal, an 4 de la République française, une et indivisible : avec les pièces justificatives et notes omises dans la première édition, imprimée par ordre du Conseil des Cinq-Cents, lu dans la séance du 28 prairial.-- De l'Imprim. de R. Vatar ...; 1796</u></p>
34	<p style="text-align: center;">3268-2</p>	<p><u>Requisitions des accusateurs-nationaux près la Haute-Cour de justice : sur les excuses proposées par vingt-trois hauts-jurés / le citoyen Bailly portant la parole ; du 27 brumaire, an cinquième.-- De l'imp. de la haute-cour, Chez Morard ...; 1796</u></p>
35	<p style="text-align: center;">9090-9 [tredecies]</p>	<p><u>Rapport au Directoire exécutif : du 12 fructidor, l'an 4 de la République française, une et indivisible.-- De l'imprimerie du Directoire exécutif; 1796</u></p>
36	<p style="text-align: center;">9090-9 [vicies quarter]</p>	<p><u>La suite aux œufs-rouges, ou, Gare le pot au noir.-- De l'imprimerie de F. Buisson, rue pierre-sarrazin ...; 1796</u></p>
37	<p style="text-align: center;">3268-4</p>	<p><u>Jugement de la Haute-Cour de justice qui ordonne un remplacement de cinq hautes-jures.-- De l'imprimerie de Morard-Colas; 1796</u></p>
38	<p style="text-align: center;">3281 9090-9 [decies]</p>	<p><u>Acte d'accusation contre le représentant du peuple Drouet : extrait des registres du procès-verbal des séances du Conseil des Cinq-Cents : du 25 thermidor, an IV de la République française, une et indivisible.-- De l'imprimerie de la République; 1796</u></p>

39	316	<u>Jugement de vingt-un particuliers prévenus d'avoir pris part à l'affaire du camp de Grenelle, dont 6 sont condamnés à la peine de mort, 8 à la déportation, 3 à la détention, et 4 mis en liberté, rendu par le conseil militaire séant au Temple, avec les noms, prénoms, âge, lieu de naissance, profession et domicile des accusés, & un résumé exact de leurs déclarations, dans lesquels se trouvent compris deux ex-membres de comité révolutionnaire, et plusieurs marchands de Paris : du 28 vendémiaire, an 5.-- De l'imprimerie de la Société typographique des trois amis ...; 1796</u>
40	9090-8 [decies]	<u>Le Directoire exécutif, aux français : du 2 prairial, l'an 4 de la République française, une et indivisible.-- De l'imprimerie du Directoire exécutif; 1796</u>
41	1503-5 9090-9 1771-18	<u>Rapport au Directoire exécutif : du 24 fructidor l'an quatrième de la République française, une et indivisible.-- De l'imprimerie du Directoire-exécutif; 1796</u>
42	3818-3	<u>Jugement de la Haute-Cour de justice, séante à Vendôme, qui rejette la demande d'Amard, Didier, Babœuf, Germain et consorts, tendante à être renvoyés devant le tribunal criminel de leur domicile, ordonne, en conséquence qu'il sera passé outre, à l'instruction du procès : séance du 19 vendémiaire de l'an 5.-- [s.n.]; 1796</u>
43	3263	<u>Protestation motivée des citoyens accusés d'avoir pris part à la prétendue conspiration du 21 floréal, par laquelle ils récusent et déclinent la Haute-Cour de justice, comme incompétente pour procéder contre eux dans cette affaire.-- De l'imprimerie de R. Vater ...; 1796</u>

44	<p style="text-align: center;">9090-9 [novies]</p>	<p><u>Extrait du procès-verbal des séances du Conseil des Cinq-Cents, du 21 thermidor, an IV de la République française une et indivisible.-- De l'Imprimerie de la République; 1796</u></p>
45	<p style="text-align: center;">9090-9 [duodecies]</p>	<p><u>Proclamation du Directoire exécutif, sur les évènements qui se sont passés dans la nuit du 11 au 12 du mois de fructidor : du 15 fructidor, l'an quatrième de la République française, une et indivisible.-- De l'imprimerie du Directoire-exécutif; 1796</u></p>
46	<p style="text-align: center;">9090-8 [quinquies]</p>	<p><u>Réponse au représentant Drouet, sur sa lettre au Corps législatif.-- De l'imprimerie de Lerouge; 1796</u></p>
47	<p style="text-align: center;">89-21</p>	<p><u>Jugement rendu par le conseil militaire séant au Temple : qui condamne à la peine de mort François Lay, général des brigands, Nicolar [i.e. Nicolas] Jacob, son aide-de-camp, et plusieurs autres brigands pris les armes à la main dans le camp de Grenelle : tous atteints et convaincus d'avoir dans la nuit du 23 au 24 fructidor, tenté d'assassiner le camp, égorger le directoire, allumer la guerre civile et anéantir les deux conseils, en rétablissant la constitution infâme de 1793.-- De l'imprimerie de Michelet, rue des Bons-Enfants; 1796</u></p>
48	<p style="text-align: center;">9090-9 [bis]</p>	<p><u>Discours prononcé au Conseil des Cinq-Cents, par F. Lamarque, représentant du peuple, sur la question de savoir : s'il y a lieu à examen de la conduite du représentant Drouet, lu le 2 messidor an 4.-- De l'imprimerie de R. Vatar et ass. ...; 1796</u></p>

49	9090-8 [quarter]	<u>Lettre du représentant du peuple Drouet, écrite au Directoire exécutif la veille de son arrestation, sur la visite nocturne faite chez lui par la force armée.-- De l'imp. du Journal des hommes libres, rue de l'Université ...; 1796</u>
50	3254	<u>G. Babeuf, tribun du peuple, à ses concitoyens.-- De l'imprimerie de Franklin, rue du Sentier ...; 1796</u>
51	9090-9 [vicies quinquies]	<u>Liste des jurés pour la Haute-Cour de justice, nommés en conformité de l'article 272 de la Constitution.-- De l'imprimerie du Directoire exécutif; 1795</u>
52	9090-11 [bis] 9090-12 9100-4 [decies]	<u>Le tribun du peuple, ou, Le défenseur des droits de l'homme, en continuation du Journal de la liberté de la presse.-- [De l'imprimerie de Franklin, rue de Cléry ...].-- No. 23 (14 vendémiaire, l'an 3me. [5 oct. 1794])--no. 43 (5 floréal, l'an 4 [24 avril 1796])</u>
53	9090-11	<u>Journal de la liberté de la presse.-- De l'imprimerie de Guffroy, rue Honoré-- No. 1er. (17 fructidor, an 2me. de la République [3 sept. 1794])--no. 22 (10 vendémiaire, l'an 3 [1 oct. 1794])</u>
54	1454-23	<u>Voyage des Jacobins dans les quatre parties du monde.-- De l'imprimerie de Francklin, rue de Cléry ...; 1794</u>
55	3255	<u>Les battus payent l'amende, ou, Les Jacobins jean-nots.-- De l'imprimerie de Franklin, rue de Cléry ...; 1794</u>

56	300	<u>C. Fournier, (Américain), a Marat : Paris 14 mars, l'an 2 de la République française.-- De l'imprimerie de Mayer & compagnie, rue Saint-Martin ...; 1794</u>
57	1499 bis [38]	<u>Soufflet a l'imposture, par la presse libre / A.B.J. Guffroy, à ses concitoyens.-- De l'imprimerie de Guffroy, rue Honoré ...; 1794</u>
58	3257	<u>On veut sauver Carrier : on veut faire le procès au Tribunal révolutionnaire : peuple prend garde à toi!-- [s.n.]; 1794</u>
59	1201-4	<u>Pétition sur les impôts, adressée par les habitans d[...] en [...] à l'Assemblée nationale, dans laquelle il est démontré que les aides, la gabelle, les droits d'entrée aux villes, &c. ne doivent & ne peuvent plus subsister, même provisoirement, chez les Français, devenus libres.-- [s.n.]; 1790</u>
60	9686-7	<u>Journal de la confederation : appel au peuple ; no. 1.-- De l'imprimerie de Laillet & Garnéry, rue Serpente ...; 1790</u>
61	3252	<u>A MM. du comité des recherches de l'Assemblée nationale.-- [s.n.]; 1790</u>
62	3256	<u>La nouvelle distinction des ordres, par M. de Mirabeau.-- Chez Volland, libraire, quai des Augustins; 1789</u>
63	9089	<u>Le scrutateur des décrets et le rédacteur des cahiers de la seconde législature, par continuation du journal intitulé, Le correspondant picard, dédié primitivement aux départemens de la Somme, de l'Aisne et de l'Oise, et offert aujourd'hui aux 83 départemens de la domination du peuple franc.-- [Reprint ed.]-- EDHIS, Editions d'Histoire Sociale</u>

64	<p>9090-9 [quater] 1942-3 bis</p>	<p><u>Opinion prononcée par A.-C. Thibaudeau, représentant du peuple, sur la question de savoir si le recours en cassation sera admis contre les jugements de la haute cour de justice : séance du 9 thermidor, an 4.-- De l'Imprimerie nationale</u></p>
65	<p>9090-9 [sexies]</p>	<p><u>Réflexions de Drouet sur les principes qui doivent garantir l'inviolabilité de la représentation nationale.-- De l'Imprimerie nationale ...</u></p>
66	<p>9090-9 [septies]</p>	<p><u>Lettre du représentant du peuple Drouet, à ses collègues, et au peuple français.-- De l'imprimerie de Lerouge ...</u></p>
67	<p>9090-8 [undecies]</p>	<p><u>Le Directoire exécutif à la commission du Conseil des Cinq-Cents chargée de l'examen de l'affaire du représentant Drouet.-- De l'Imprimerie nationale</u></p>
68	<p>1503-7 9090-9 [undevicies]</p>	<p><u>Rapport par Talot : séance du 25 fructidor, an IV.- - De l'Imprimerie nationale</u></p>
69	<p>9090-5 9090-6</p>	<p><u>Copie des pièces saisies dans le local que Baboeuf occupoit lors de son arrestation ; [v. 1] - [1er v.]-- De l'Imprimerie nationale</u></p>
70	<p>9090-9</p>	<p><u>Discours prononcé par A.C. Thibaudeau, représentant du peuple, le 2 messidor, sur la question de savoir : s'il y a lieu à examen de la conduite du représentant Drouet, inculpé dans la conspiration de Babœuf?-- Chez Maret, libraire ...</u></p>
71	<p>9090-9 [octies]</p>	<p><u>Rapport sur la résolution du 11 thermidor dernier, relative à la Haute Cour de justice, par Portalis : séance du 19 thermidor, an 4.-- De l'Imprimerie nationale</u></p>

72	3259	<u>Du système de dépopulation, ou, La vie et les crimes de Carrier, son procès, et celui du Comité révolutionnaire de Nantes ... / par Gracchus Babeuf.-- Se trouve à l'imprimerie de Franklin ...</u>
73	Fol.72-1 [bis]	<u>C.G. Babeuf, d'après de sève / Flameng.-- Delâtre imp.</u>
74	9090-9 [ter]	<u>Discours du représentant du peuple Drouet, prononcé par lui au Conseil des Anciens, dans la séance du 7 messidor, pour répondre au lieu à examen de sa conduite, prononcé par le Conseil des Cinq-Cents.-- De l'Imprimerie nationale</u>
75	9090-9 [quinquies]	<u>Réponse de Drouet au discours de Thibaudeau prononcé au Conseil des Cinq-Cents contre ce représentant.-- De l'Imprimerie nationale</u>
76	9090-8 [octies]	<u>Extrait du procès-verbal des séances du Conseil des Cinq-Cents, du 25 floréal, an 4 de la République française une & indivisible.-- De l'Imprimerie nationale</u>
77	9090-8 [duodecies]	<u>Pieces relatives à l'affaire du représentant du peuple Drouet, adressées par le Directoire exécutif.-- De l'Imprimerie nationale</u>
78	9090-8 [tredecies] 1851-23	<u>F. Lamarque, membre du Conseil des Cinq-Cents, a ses collègues.-- De l'Imprimerie nationale</u>
79	1503-8 9090-9 [vicies]	<u>Rapport fait au nom d'une commission spéciale nommée sur le message du Directoire exécutif en date du 29 fructidor an IV, par A.-G. Camus, séance du 29 fructidor de l'an IV.-- De l'Imprimerie nationale</u>

80	3286	<u>Tentatives de réaliser le système de Babœuf, par la voie des élections : prouvées par une petite liste alphabétique de quelques principaux électeurs du canton de Paris, enfans chéris de Babœuf, qui tenoient le dez à l'oratoire.-- [s.n.]</u>
81	9090-8 [sexies]	<u>Extrait du procès-verbal des séances du Conseil des Cinq-Cents, du 23 floréal, l'an quatrième de la République française, une & indivisible.-- De l'Imprimerie nationale</u>
82	9090-8 [novies]	<u>Extrait du procès-verbal des séances du Conseil des Anciens : du 29 floréal, an 4 de la République française, une & indivisible.-- De l'Imprimerie nationale</u>
83	9090-8 [quattour decies]	<u>Mémoire justificatif de Drouet, représentant du peuple français, en réponse à la dénonciation faite contre lui par le Directoire exécutif de la République française, le 21 floréal, an 4 de la République française, une & indivisible, lu dans la séance du 28 prairial.-- de l'Imprimerie nationale</u>
84	1503-2 9090-9 [septiesdecies]	<u>Message : extrait du registre des délibérations du Directoire exécutif, du 24 fructidor, l'an 4 de la République française, une et indivisible.-- De l'Imprimerie nationale</u>
85	Fol. 72-1	<u>[Portrait : Babeuf].-- [s.n.]</u>
86	Fol. 72-1 [ter]	<u>Babeuf.-- Publié par la Société de l'industrie fraternelle</u>
87	Fol. 72-1 [quinquies]	<u>Babeuf / Barbant, sc.-- Imp. L. Toinon</u>
88	1503-3 9090-9 [sedecies]	<u>Message : extrait du registre des délibérations du Directoire exécutif, du 24 fructidor, l'an 4 de la République française, une et indivisible.-- De l'Imprimerie nationale</u>

89	3818-2	<u>Requisition des accusateurs nationaux près la Haute-Cour de justice, sur les déclinatoires de plusieurs accusés des 13, 15, 17 & 25 fructidor, an 4e : jugement de la Haute-Cour, du 19 vendémiaire, an 5e, qui rejette les déclinatoires, ordonne qu'il sera passé outre à l'instruction du procès.-- De l'imprimerie de la Haute-Cour, chez Morard ...</u>
90	9090-8 [bis]	<u>Messages du Directoire exécutif, et pièces envoyées par lui au Conseil des Cinq-Cents, relativement au représentant du peuple Drouet.-- De l'Imprimerie nationale</u>
91	7132	<u>La conspiration de Babeuf / par Antoine Fantin-Désodoards.-- H. Gautier.-- (Récits des grands jours de l'histoire ; no. 42)</u>
92	3268-1	<u>Rapport sur les excuses proposées par plusieurs hauts-jurés : fait a l'audience du 27 brumaire an V.-- De l'imprimerie de Soudry, marchand-libraire ...</u>
93	9090-9 [vicies sexies] 1838-8	<u>Rapport fait par Izos (des Pyrénées-Orientales), sur la pétition du citoyen Jean-Baptiste Drouet, ex membre de la Convention nationale : séance du 8 vendémiaire an 7.-- De l'Imprimerie nationale</u>
94	9090-7	<u>Copie de l'instruction personnelle au représentant du peuple Drouet.-- De l'Imprimerie nationale</u>
95	1503-1 9090-9 [quindecies]	<u>Message : extrait du registre des délibérations du Directoire exécutif, du 24 fructidor, l'an 4 de la République française, une et indivisible.-- De l'Imprimerie nationale</u>
96	Fol. 72-1 [quarter]	<u>Gracchus Babeuf.-- P. Dien imp. ...</u>

97	3253	<u>Babeuf, ex-administrateur du département de la Somme, et successivement du district de Mondidier, aux comités de salut public, de sûreté générale & de législation de Convention nationale, et à Gohier, ministre de la justice.-- De l'imprimerie de Prault, cour de la maison de justice</u>
98	3818-1	<u>Proces-verbal d'installation de la Haute-Cour de justice, discours des president et accusateurs nationaux du 19 vendémiaire, an 5e.-- De l'imprimerie de la Haute-Cour, chez Morard-Colas ...</u>